

「私が私であること」へのスタンス

各学校での今年度の講義が始まった。非常勤も2年目であり、前年の横道にそれることが多く、どこか個性的過ぎる講義かなとの反省もあり、今年はどう講義を進めるかの迷いが自分の中に出かかっていた。そうした折り、ある学生から以下のメ-ル（抜粋）をいただいた。従来 of 講義スタイルでよさそうで、このメ-ルから自分の迷いを吹き飛ばす勇気をいただいた。

『やはり先生の授業は毎回大きな贈り物を与えてくださり、とても有意義な時間を過ごすことができます。ビデオは感動的で、とても胸にしみるメッセージをいただきました。まさにタイムリーに様々なメッセージが私の心に入ってきました。“生まれ変わってもまた私に生まれたい。私が私であることが好きだから。” 一日一日を懸命に生きる。すべてを受け止めて…。

私も“明日死んでも悔いはないと言える生き方をしたい。” 一日一日を大切に生きていたいと思っています。今日は大切なことを思い出させていただきました。ありがとうございました。

それにしても、先生のアンテナの精巧度、感性の鋭敏さには舌を巻かざるを得ません。魂のレベルが高いと、いろんなものに対して感性が研ぎ澄まされ、どんどん情報をキャッチできるようになるんですね。私も感性を磨く努力を惜しまずに日々いろんな体験を自分のものにしていきたいです。

今朝、「スピリチュアル セルフカウンセリング」という本を読んでいたのですが、その中の“目に映るものはすべて自分の中にあるもの”というフレーズが心に留まりました。先生がいろんなことを感じ、幅広い情報をキャッチできるのは、先生ご自身が溢れるほど豊かなものを持っているからで、何も無い人の目には何を見ても何も映らないし、何も感じられないんだなぁと思いました。私も柔らかくて豊かな感性を持ちたいなと思っています。では、また次回のご講義楽しみにしております。』

知識ではなく、何かが伝わっている学生がいることは、講義する我が身としては嬉しい限りである。

(2003年04月16日記)